

新規貸出「食育紙芝居」

「みんなで食べるとおいしいね!」



たて26.5×よこ38.2cm・各12場面
表面カラー印刷・裏面1色印刷・
【指導書】1色印刷

タイトル	内容
くいしんぼうの パークバク 作・絵：あきやまただし	おいしいものを見つけると、同じ物ばかりおなかいっぱい食べてしまうバクのパークバク。チョコレートを食べ過ぎて、まるくてちゃいろのチョコレートみたいになってしまいました。さあ、どうしたらもとに戻れるのでしょうか
ゆっくりよくかみ おおかみくん 作：もとしたいづみ 絵：加藤晃	パークバク園でのお昼ごはん。オオカミくんはいつものようによく噛まず、すごいスピードで食べてあそびにいてしまいました。あとから来たひつじさんやうさぎさんとあそんでいると、オオカミくんは急におなか痛くなって……。
これなあに? 作：島本一男 絵：浅沼とおる	「ちくわって どこになっているの?」お手伝いをしながらしんちゃんが聞くと、「海のお魚さんだったのよ」とお母さん。しんちゃんの頭の中でちくわが泳ぎだし……。そして、おでんになったちくわが、畑や山からやって来たお鍋の中の友だちをしんちゃんに紹介してくれます。
たのしいおまつり、なに たべる? 作：すとうあさえ 絵：鈴木博子	「おりひめさまとひこぼしさまのおまつり、なーんだ? たなばたまつりにたべる、「そ」のつくもの、なーんだ?」四季折々の年中行事について、子どもたちと楽しくやりとりしながら、行事の由来と行事食について伝えます。
ごはんでげんき げんき ぴん 作・絵：長野ヒデ子	でんきがまちゃんとお鍋ちゃんが朝ごはんを作っています。「ぐつぐつ ぶっー おいしいごはんができたよ!」「ぐつぐつ ほわーん おいしいみそしるができたよ!」でも、だれも起きて来ません。そこで、二人はそっと台所から飛び出して、ごはんを食べてくれる人を見つけにでかけました。

にがてなたべものにチャレンジ

内容 1日4枚ずつ5日間読み聞かせるように構成された紙芝居です。

主人公のお茶太郎君には、にがてな食べ物がたくさんあります。しかし、にがてな食べ物が給食に出たとき、お茶太郎君はがんばっていろいろな工夫をしてにがてな食べ物にチャレンジします。(1日目～4日目) 給食を残さず食べられたお茶太郎君は、残さず食べると起こるいろいろな「いいこと」に気づきます。最後には何の工夫もせず、にがてな食べ物を食べられるようになり、給食を残さなくなります。(5日目)

たて26.5×よこ38.0cm・24画面

1日目

にがてなきのこを、がんばって鼻をつまんで食べました。給食を残さず食べると、給食を作ってくれた調理員さんがよろこびました。



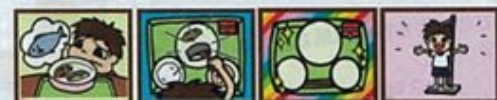
2日目

にがてグリーンピースを、がんばってほかの食べ物と一緒に食べました。給食を残さず食べると、パワーが出ました。



3日目

にがてな魚を、がんばって最初に食べました。給食を残さず食べると、体が大きくなりました。



4日目

にがてなにんじんを、がんばっておいしいと思って食べました。給食を残さず食べると、かぜをひかなくなりました。



5日目

にがてなピーマンを、特別なことをせずに食べられました。給食を残さず食べると、気分がよくなりました。

